

こんにちは！ こしいしかつ子

発行元：奥石且子 横浜市栄区公田町514小岩井ビル2F
TEL045-894-9956 FAX045-894-9957
<http://www.koshiishikatsuko.jp/>



-働く女性・母親の目線で地域の課題を市政に届けます- **です!!** [レポートNo. 2]

議員事務所に勤務しながら子育て12年。現役の働くお母さんです。

子育てに大きな責任を感じながら、身近な方々や社会制度に支えられて、やりくりの積み重ねの中で暮らしてきました。私と同様に、家族、地域、学校、職場等の理解と協力なくして、安心と暮らしの充実はありえないと実感される方は多いのではないのでしょうか。

私は「おもいやり」「いたわり」「ゆるしゆすり合い」の心が反映された制度が、その心を持った担い手によって運営されたときに、真に豊かな社会環境が成熟すると考えます。

高齢化が待ったなしで進む中、制度の充実と人づくりは車輪の両輪。教育と福祉をハード面ソフト面で充実させる施策を進めます。

現在、横浜市会の議員数は92名。うち女性は14名。最大会派内は0名です。

大都市制度・地方分権の叫ばれる中、現政令市の市会議員の役割は益々重大になります。

民主主義の下で、生活者である私たちの声を届け、確実に市政に反映させるために、横浜市政の現場に働くお母さんの視点を持ち込み、柔軟な姿勢で横浜の課題解決に取り組みます。

横浜市会議員定数6減

平成23年4月施行の全国統一地方選挙では、横浜市会議員の定数は現行の92人から86人に削減されます。栄区はすでに減員となり、おり定数3の現状維持となります。

<今回の減員区>

青葉区 (8→7) 都筑区 (5→4)
鶴見区 (7→6) 神奈川区 (6→5)
港南区 (6→5) 戸塚区 (7→6)

ハートコラム 私の関心 …これまでもこれからも…

環境健康学トランスレーターとは

科学や技術の世界は日進月歩で進んでいます。環境化学物質問題でも同じです。環境健康学の分野で、研究者の最新の知見も踏まえ、一般の方々に環境化学物質問題を分かりやすく伝える役目、いわば、環境健康学について一般の方々と研究者の間の橋渡しとなる人材です。NPO 法人次世代環境健康学センター（千葉大学内）が認定する資格です。

Q. まぐろのおさしみ、妊婦さんは一週間に何切れまで食べても大丈夫？
(答え：4切れ)



[こしいしかつ子プロフィール] 昭和43年(1968)横浜市栄区上郷町生まれの2児の母●横浜市立犬山小学校(現上郷小)上郷中・県立上郷高校(現横浜栄)・川村学園女子短期大学英文科卒業●古美術から現代アートまでを対象としたイベント企画に従事●その後前横浜市会議員つのだ宏子事務所に勤務●参議院比例区支部長秘書として子育てに市民活動にと奮闘
[現在] 自民党横浜市連青年局次長●さかえ福祉まごころの会理事長●国際芸術家センター元理事●環境健康学トランスレーター●アフリカエイズ孤児を支援する女性の会会長●学校給食と子どもの健康を考える会会員●三味線音楽普及の会会員 他

こんにちは! **こしいしかつ子**です!!

将来に安心感がありますか

栄区の高齢化率は横浜市の平均を上回っています。高齢者が安心して暮らすための環境整備とともに、若者が住みたい、住むことが出来る街づくりが必要です。現状を検証し、分野を分けない政策統合によって、質の高い議論と施策実現を可能にしたいと思います。

[教育] 質の高い教育と安全な教育環境を

教育現場の感動と信頼と誇りを高め、知力・体力・徳力のバランスの取れた教育を実践。ひとりひとりが夢を実現させる力を育む、優れた教育環境を整備します。

[経済] やらわかな発想と確かな検証でワークライフバランスの推進を

区内、近隣の新たな雇用創出の可能性を模索しながら、働く女性や、家庭も仕事も充実させたい男性、第二・第三の人生を応援します。

[命を守る] セーフコミュニティへの取り組み推進を

災害、事故、事件、自殺、虐待などを予防し、一人ひとりの命を守る地域づくりを推進します。

[医療 福祉] 安心を実感できる地域医療の整備を

心の通う地域医療と最先端医療、専門医療と総合医療、医師不足を補う柔軟なネットワークづくり。女性・高齢者・小児・障害者等々あらゆる人に安心な医療のバリアフリー化を促進します。

[緑の保全] 総合的視点にたった確かな保全計画を

担い手の育成等、将来を見据えた確かな緑の保全計画を推進します。地域環境保護の視点と身近な緑の保全、都市基盤整備のバランスの取れた意識づくり、体制作りを目指します。



関心と感動を